

改善プログラムシート

施設の目指す姿

「スポーツのまち」町田の拠点として、「する」スポーツと「みる」スポーツが共存している施設

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
予算等により変更となる場合もあります。

施設名

町田市立総合体育館

担当部課名

文化スポーツ振興部スポーツ振興課

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	メインアリーナ等の利用料金を改定します。	2013年4月	・受益者負担の適正化 ・指定管理料の削減 (次期指定管理者選定時。削減額は現時点では未定。)	前回の利用料金の見直しから年数が経過していることから、2011年度中に、一般利用と興行利用の両面から見直し内容を検討します。2012年度に町田市体育施設条例を改正し、周知期間において、2013年4月から利用料金の変更を実施します。
②	「みる」スポーツについてのPRを増やし、市民の理解・関心を広げます。 総合体育館の優先予約の取扱基準を改定します。	2013年4月	・高いレベルのスポーツを観戦する機会が増え、よりスポーツの魅力を感じることができる。 ・有料興行観戦者数の増加 21,284人(2010年度)→30,000人(2016年度)	「みる」スポーツの推進にあたり、「みる」スポーツと「する」スポーツの両立について市民の理解を得ながら進めていくべきであるとの指摘・意見を受けています。このため、町田市体育協会等のスポーツ団体と調整するとともに、「みる」スポーツについてのPR・周知を図り、市民参画を拡大し、市民の理解を得ながら、優先予約に関する取扱基準を見直します。
③	学校の体育館を含む学校開放事業を見直します。	2014年4月	・スポーツを「する」場の確保	総合体育館の利用率が高い状況で、「みる」スポーツを増やすことは、少なからず総合体育館における「する」スポーツを圧迫することになり、課題となっています。現在の学校開放事業を見直し、学校の体育館を抽選や予約により利用できるようにすることで、屋内におけるスポーツの「する」場の確保を図ります。
④	総合体育館で実施される事業への市民参画を拡大します。	2013年4月	・スポーツを「支える」人口の増加	運営への市民参画を増やすことで、経費の削減を目指すべきであるとの指摘・意見を受けています。経費の削減になるかは不明ですが、スポーツを「支える」人を増やすために、町田市体育協会と連携して、事業実施に協力していただけるスポーツボランティアの仲介制度の創設を検討します。